

1. はじめに

通称：白象

年齢：48 歳

職種：公益法人の技術職員

最終学歴：専門学校卒

部門：建設部門,建設環境(建設副産物リサイクル)

受験回数：五回目

2. 業務経歴

普通の業務では、土質の改良やその評価が多く、周辺では建設部門,土質及び基礎での取得者が多い。経歴の各ポイントを、リサイクル目的に見えるように記述。

3. 筆記試験

はじめに、・・・の問題と課題、・・・の解決策、おわりに、の形式を守る。

では、実際の数値や傾向を紹介する。では、を受け放っておいたら起きうる問題を挙げ、課題を整理する。では課題の解決策を記述。ではまとめと実施上の課題を記述。

普通の業務でも資料作成時は、まず、表紙と目次を作り、この流れを意識した。

国土交通としての社会的な問題点の抽出の材料として、白書の他に国土総合技術研究所アニュアルレポート、建設コンサルタンツ協会の建設コンサルタント白書を参考にした。

国総研のレポートは、トップ3名の文章はまとまっていてわかりやすい。また、関係研究室の文章も「はじめに」を読むと関係分野での問題点がまとまっています。

業務上、狭い範囲で仕事をしているので、生物多様性は本レベルの知識しかありません。SEAに至っては0でした。

そんな中で、建設一般に環境に関する問題があり、専門分野でもリサイクルに関する問題が出たことで気楽に記述ができました。

3. 口頭試験

(1)技術体験論文

受託業務で実施した中から選択。

実際の業務の本筋ではなく、派生したような問題と課題をクローズアップして記述。

論文1：処理土等の有効利用方策の検討(政策的な検討業務)

論文2：廃棄物混じり土の有効利用(実務的な検討業務,詳述)

(2)準備

経歴、技術体験論文、技術的事項、技術士法3義務2責務等をパワーポイントにまとめて大まかに説明できるように繰り返す。カード形状に出力して持ち歩き何度も確認しました。頭の中で画像が浮かぶようにしたつもり。

(3)質問

試験官A：年長者(大学教授の印象)

試験官B：若手(大学教授の印象)

A：経歴と技術的体験論文の説明を10分程度で

私：(説明)(10分を超えたところで説明を切られる)

A：以前に技術士は取っていますか？

私：いいえ、取得していません。

A：学校ではどのような研究をしていましたか？修了論文は？

私：専門学校なので研究というのはしていません。(特殊な学校名なので勘違いしたか？)

A：これら業務はどのような位置づけで行ったものですか？

私：受託業務で実施したものです。

A：環境省の廃棄物処分場跡地利用の施行ガイドラインを知っていますか？

私：(概要的な説明) (問の答えではないと認識)

B：この業務(1)の成果はどのように利用されていますか？

私：平成24年度で終了する5カ年計画の中の一つですので、今後、世に出ると考えます。

B：業務(2)を行う上で、苦労した点は何ですか？

私：工事を進める中での並行作業なので、ポイントで工事に直結する結論を出していかなければならず苦労しました。また、技術的課題については、某機関にも相談して意見を聞きながら発注者と協議して進めました。

B：業務(2)を行う上で、地域住民への説明等を行いましたか？

私：(周辺状況が住民に影響がなかったことを説明)管轄行政との打合わせは発注者が行っておりますので、同席しておりました。

B：建設リサイクルするうえで注意すべきことはなんですか？

私：発生抑制、再利用、再生利用・・・(詰まる 頭が真っ白になる)

B：熱回収や適性処分ですね。

私：そうです。熱回収や適性処分です

B：アセットマネジメントについて、建設リサイクルとはどのように関係しますか？

私：メンテナンスを行いながら寿命を延ばすことで、構造物を撤去新設するよりも資源を使用しないで済みます。また、壊す場合でも、再生品として利用することを考慮する必要があります。

A：最近論文投稿はしていますか？

私：最近、自分の組織で出している という雑誌で報告することが多いです。

A：どんなものを出しましたか？

私：×××についての報告をしました。

A：SEAについて新しい法が施行されますが知っていますか？

私：施行は存じておりますが、詳細な様については存じ上げません

B：SEAは何のために行いますか？

私：(表面的なことを答える)

B：それは、何のためですか？

私：(加えて表面的なことを答える)

B：・・・

B：生物多様性について質問します。現在、どんなことが起きて何が問題ですか？

私：(生物多様性の概要と現在の危機について教科書通り述べる)

B：海外からの流入は何が問題なのですか？

私：在来生物を駆逐や・・・

B：遺伝子の混入などがありますね。

B：ヒートアイランドについて

私：(教科書レベルを答える)

B：東日本大震災をうけて、エネルギー問題等と今後のまちづくりについて
私：コンパクトな街づくりを云々・・・(詰まる 頭が真っ白になる2)

A：業務上、技術者論理に関する問題が生じたことがありますか？

私：試験証明書の数値が間違っていることに気づき、上司に報告の上、お客様に事情を説明、謝罪を行った。報告書もすべて差し替えた。

A：試験証明依頼等で便宜を図ってくれと言われたことはありますか？

私：ありません。

A：技術者論理に関して、社会的に問題になったことは知っていますか？

私：今年の夏、埼玉県の水浄場でホルムアルデヒドが検出されることがあり、上流での廃棄物処理の対応について、技術者として対応に問題があったと思います。
(技術者論理の答えかどうか不安、試験官の反応は薄かった。)

A：技術士の違反行為に罰則があるのはご存知ですか？ どのようなものですか？

私：(教科書通り答える)

A：技術士になっての抱負

私：業務上・・・の案件が多くなってきており、積極的に携わりたい。

全体的な印象：質問に対してかみ合った回答ができていなかった。

(よしやった、という印象はない。)